

まえがき

国土交通省国土技術政策総合研究所緑化生態研究室は、「健全な環境を将来世代に引き継ぐための、自然と共存しうる循環型国土を形成する」という基本認識に立脚し、自然と調和した国土・都市環境の保全・再生・創出及びインフラ整備に係る技術の研究開発を進めています。

本報告書は、緑化生態研究室が平成 16 年度に行った調査・研究の概要や、当研究室のスタッフが平成 16 年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

平成 16 年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の 4 テーマに分類されます。

- ① 緑化技術に関する研究
- ② 公園・緑地等の計画に関する技術研究
- ③ 環境アセスメントおよびミティゲーションに関する技術研究
- ④ 生態系の保全・ネットワーク計画および生物生息空間の創出技術に関する研究

「① 緑化技術に関する研究」では、道路緑地の設計手法に関する研究、沖縄における特殊緑化手法に関する調査、公園施設等における壁面緑化技術開発等に関する調査を実施しました。

「②公園・緑地等の計画に関する技術研究」では、生物生息環境保全のための里山保全制度に関する研究、地球環境の衛星モニタリングに関する研究、公園緑地の経済評価に関する研究、少子・高齢化社会に対応した公園緑地基準の検討、自然との触れ合いの場の整備技術の研究を実施しました。

「③環境アセスメントおよびミティゲーションに関する技術研究」では、ダム事業における希少猛禽類の保全技術に関する調査、圍繞景観の評価手法に関する調査、生態系の評価手法に関する調査、動植物・生態系の環境保全措置と事後調査手法に関する調査、ミティゲーション整備技術の研究を実施しました。

「④生態系の保全・ネットワーク計画および生物生息空間の創出技術に関する研究」では、自然共生型国土基盤整備技術の開発、公園緑地における生態的環境評価手法に関する研究を実施しました。

自然環境と人間生活の調和や共存が叫ばれているなか、道路、河川、公園、都市など公共事業のあらゆる場面で自然環境への配慮が求められており、公共緑地では、快適性、美しさ、自然との触れ合いなど、さまざまな要求が出されるようになってきています。私たちは、今後も研究成果に対する皆様からの評価やご意見を踏まえつつ、より効果的な政策提言を発信していきたいと考えています。

末尾ながらこれまでの関係の皆様のご指導、ご協力に感謝するとともに、緑化生態研究室に対する変わらぬご支援をお願いする次第です。

平成 17 年12 月

国土交通省国土技術政策総合研究所
環境研究部 緑化生態研究室長
松江 正彦